

1 審議会等の名称	第7回三重県観光審議会
2 開催年月日	平成27年4月21日
3 委員	【会長】東京未来大学 教授 石阪督規 ほか8名出席
4 諮問事項	三重県の観光の「めざすべき姿」の実現に向け、次期観光振興基本計画で取り組む方向性について
5 調査審議結果	<p>事務局から、三重県観光を取り巻く状況、三重県観光振興基本計画目標達成状況、次期観光振興基本計画策定等について、説明を行いました。</p> <p>委員から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの観光振興基本計画の総括として、目標達成、未達成の要因をしっかりと把握し、そこから三重県の強み、弱み、今後の方向性を検討すべきである。 ・これまでの10年間は収穫の時期であったが、今後の10年はチャージの時期とし、種まきをしなければならない。中期的なビジョンを持って次の遷宮に備えるべきである。 ・インバウンドについては、地元ではこれまで訪日旅行者の取組をあまり行ってこなかったが、今後のインバウンドの取組は大事である。 ・MICE誘致については、伊勢志摩国立公園70周年と絡めて「環境と観光を考える世界大会」を伊勢志摩に誘致するなどメッセージが必要である。 ・三重県は地域によってキラーコンテンツが異なる。インバウンドについても国別ターゲットは出ているが、コンテンツ別があってもいいのではないか。 ・トレンドの把握が一番早いのは現場であるので、現場の感覚を大切にしたい。しかし、そこには精度がないので、統計やアンケートで確認できれば計画策定にも役立つのではないか。 ・数より質を目指す方向を示すべきである。そのためにも観光消費額を上げることが大事である。 <p>などの意見をいただきました。</p> <p>これらの意見は、次期観光振興基本計画に反映させていきます。</p>
6 備考	